



《労農記者クラブ扱い》

大阪労働局発表  
平成25年6月27日

担当	大阪労働局労働基準部安全課 電話 06-6949-6496
----	----------------------------------

## ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会 平成25年度安全衛生表彰式を開催

日時	平成25年7月1日（月） 13:30~16:50
場所	エル・おおさか（大阪府立労働センター）大ホール （大阪府中央区北浜東3-14）

### 1 平成25年度の安全衛生表彰について

(1) 大阪労働局（局長 森岡雅人）では、毎年、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場、団体又は功労者に対して大阪労働局長表彰を行っています。

平成25年度は、13事業場、7名を表彰します。（別紙1・別紙2参照）

#### (2) 表彰の方法

平成25年7月1日（月）エル・おおさか（大阪府立労働センター）大ホールにおいて開催する「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」推進大会の開会に先立ち、「安全衛生表彰式」を行います。

なお、当表彰式で厚生労働大臣奨励賞の伝達式を併せて行います。

### 2 ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会を開催

健康が確保され安全で安心な職場の実現を目指し、労働災害を減少させるため、全国安全週間初日の7月1日（月）に、大阪労働局及び管内各労働基準監督署が主唱し、公益社団法人大阪労働基準連合会ほか府内11の労働災害防止団体等が主催する「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」推進大会を開催します。（別添 ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会並びに第86回全国安全週間リーフレット参照）

当日のタイムスケジュールは、別紙3「平成25年度安全衛生表彰式及びゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会」のとおりです。

平成25年度 安全衛生に係る優良事業場等に対する大阪労働局長表彰

(別紙2 受賞者名簿参照)

- **優良賞（5事業場）**

安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業

- **奨励賞（8事業場）**

安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場又は企業

- **功績賞（3名）**

地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

- **安全衛生推進賞（4名）**

長年にわたり安全衛生業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

## 平成25年度 大阪労働局長表彰 受賞者名簿

## 優良賞(5事業場)

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
優良賞	安全確保対策	フジ印刷株式会社	大阪中央署
		株式会社長谷工コーポレーション (仮称)森ノ宮中央計画新築工事	大阪中央署
		竹中工務店・鴻池組建設共同企業体 (仮称)日本通運株式会社 天王寺支店新ロジスティクスセンター倉庫建設工事	東大阪署
	健康保持増進	扶桑薬品工業株式会社 城東工場	大阪中央署
	快適職場形成	株式会社長谷工コーポレーション (仮称)西区江戸堀新築工事	大阪西署

## 奨励賞(8事業場)

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
奨励賞	安全確保対策	株式会社竹中道路 大阪本店	大阪中央署
		株式会社ダイニチテクノ	大阪中央署
		関西電力株式会社 南港発電所	大阪南署
		中山鋼業株式会社	西野田署
		斎藤ガasket工業株式会社	淀川署
		ライオン株式会社 大阪工場	堺署
		積水化学工業株式会社 開発研究所	茨木署
	快適職場形成	梅田北ヤード共同企業体Aブロック(大林組・竹中工務店)	天満署

## 功績賞(3名)

表彰区分	氏名	経歴	所轄
功績賞	古川 政彦	日本クレーン協会近畿支部長 (株式会社竹中工務店西日本機材センター所長)	大阪労働局
	山下 一彦	建設業労働災害防止協会大阪府支部参与 (前田建設工業株式会社関西支店安全環境部安全シニアマネージャー)	大阪労働局
	茂山 哲司	建設業労働災害防止協会大阪府支部参与 (大成建設株式会社関西支店安全・環境部長)	大阪労働局

## 安全衛生推進賞(4名)

表彰区分	氏名	経歴	所轄
安全衛生推進賞	高山 伊三男	建設業労働災害防止協会大阪府支部西野田分会分会長 (株式会社ハンシン建設管理本部副本部長)	西野田署
	松崎 洋	一般社団法人淀川労働基準協会安全部会長 元労災防止指導員 (ダイハツ工業株式会社第1工場管理室長)	淀川署
	上角 衛	一般社団法人淀川労働基準協会特定化学工業研究会会長 (参天製薬株式会社CSR統括部環境安全衛生推進室)	淀川署
	滝沢 泉	建設業労働災害防止協会大阪府支部北大阪分会常任委員 (安積建設株式会社安全教育部長)	北大阪署

## 平成 25 年度安全衛生表彰式及びゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会スケジュール

- 1 日 時 平成 25 年 7 月 1 日 (月) 13 : 00 ~ 16 : 50
- 2 場 所 エル・おおさか (大阪府立労働センター) 大ホール  
大阪市中央区北浜東 3-14
- 3 主 唱 者 大阪労働局・各労働基準監督署
- 4 主 催 者 (公社) 大阪労働基準連合会・各地区労働基準協会ほか労働災害防止団体等
- 5 タイムスケジュール  
13 : 00 開場  
13 : 30 開会

**安全衛生表彰式 (13 : 31 ~ 14 : 00)**

13 : 31 大阪労働局長賞・(公社) 大阪労働基準連合会会長賞 授与

**ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会 (14 : 15 ~ 16 : 50)**

- 14 : 15 開会の辞 (公社) 大阪労働基準連合会 安全部会長
- 14 : 20 主唱者・主催者挨拶 大阪労働局長・(公社) 大阪労働基準連合会会長
- 14 : 30 来賓・主催者紹介
- 14 : 50 基調講演 「これからの安全衛生行政について」 大阪労働局 労働基準部長
- 15 : 10 事例発表 「『安全の見える化』で一人ひとりの気づき力アップ」 ダイキン工業(株) 淀川製作所担当部長
- 15 : 30 特別講演 「失敗学～原因から未来の失敗を予測する」 東京大学大学院工学系研究科教授
- 16 : 40 大会宣言 (一社) 日本ボイラ協会大阪支部 支部長
- 16 : 45 閉会の辞 陸上貨物運送事業労働災害防止協会大阪府支部 支部長
- 16 : 50 閉会

**《取材について》**

報道機関関係者からの取材を受け付けます。

取材をされる方は、大ホール前ロビーの報道機関専用受付までお越し下さい。記帳・名刺等により報道機関名・担当者名を頂戴いたしますのでご協力をお願いします。

会場内に報道機関専用席を設けています。受付が終了しましたら、係の者が席までご案内いたします。

写真撮影は随時可能です。

# 平成25年度 安全衛生表彰式 ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で86回目を迎えます。

労働災害を防止するためには、トップを始めとした事業場の全員が現場を認識し、安全に対する意識や危険感受性を高めることにより、労働災害ゼロを目指していく必要があります。

このような観点から、平成25年度の全国安全週間は、「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」をスローガンとして展開されます。

大阪労働局では、平成25年度を初年度とする大阪労働局労働災害防止推進計画の目標を達成するため、工場、現場、事務所、店舗などの職場に潜む危険や安全衛生活動等を積極的に目に見える形にすることにより、労使の自主的な労働災害防止活動を促進し、健康が確保され安全・安心な現場・職場の実現を図るため、

## 「見ること『気づき』から『考動』へ」

をスローガンに「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」を展開しています。

「安全見える化運動」について、詳しくは大阪労働局のホームページ「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」をご覧ください。(http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp)

全国安全週間を契機とし、それぞれの職場で労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図っていただくため、平成25年度「安全衛生表彰式」及び「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』推進大会」を下記のとおり開催いたしますので、本趣旨にご賛同いただき、多数の皆様がご参加くださいますようお願いいたします。

## 記

- 日 時 平成25年7月1日(月)  
13:30～16:50(13:00開場)
- 場 所 エル・おおさか (大阪府立労働センター)大ホール  
大阪府中央区北浜東3-14 電話 06-6942-0001  
(地下鉄谷町線・京阪電車「天満橋駅」から西へ300メートル)
- 定 員 800名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- 参加費 無 料

## 会場案内図



- ◇主 唱 大阪労働局・各労働基準監督署
- ◇主 催 公益社団法人大阪労働基準連合会・各地区労働基準協会  
建設業労働災害防止協会 大阪府支部  
陸上貨物運送事業労働災害防止協会 大阪府支部  
港湾貨物運送事業労働災害防止協会 大阪総支部  
林業・木材製造業労働災害防止協会 大阪府支部  
中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター  
中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター  
中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター  
一般社団法人日本ボイラ協会 大阪支部  
一般社団法人日本クレーン協会 近畿支部  
公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 大阪府支部  
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 大阪支部

# プログラム

開 場 (13:00)  
開 会 (13:30)  
黙 禱

## 安全衛生表彰式

厚生労働大臣賞披露・伝達  
大阪労働局長賞授与  
公益社団法人大阪労働基準連合会長賞授与  
全国T H P推進協議会長賞伝達

## ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会

- 1 開 会 の 辞 公益社団法人大阪労働基準連合会 安全部会長
- 2 主 唱 者 挨拶 大 阪 労 働 局 長
- 3 主 催 者 挨拶 公益社団法人大阪労働基準連合会 会長
- 4 来 賓 紹 介 大 阪 府 知 事  
大 阪 市 長  
日本労働組合総連合会 大阪府連合会会長  
公益社団法人関西経済連合会 会長
- 5 主 催 者 紹 介

----- 休 憩 (15分間) -----

- 6 基 調 講 演 「これからの安全衛生行政について」  
大阪労働局 労働基準部長 高井 吉昭 氏
  - 7 事 例 発 表 「『安全の見える化』で一人ひとりの気づき力アップ」  
ダイキン工業(株)淀川製作所 担当部長 安全管理者 野口 清志 氏
  - 8 特 別 講 演 「失敗学～原因から未来の失敗を予測する」  
東京大学大学院工学系研究科教授 中尾 政之 氏
  - 9 大 会 宣 言 (一社)日本ボイラ協会大阪支部 支部長 永田秀昭
  - 10 閉 会 の 辞 陸上貨物運送事業労働災害防止協会大阪府支部 支部長 澤田時雄
- 閉 会 (16:50)

## 平成25年度 安全衛生表彰式 ゼロ災・大阪「安全見える化運動」推進大会参加申込書

参加証番号	職 名	氏 名
*		
*		
*		

(注) \*印の欄は、受付団体において記入します。

上記のとおり申し込みます。

平成25年 月 日

事業場名

TEL ( ) -

所在地 〒 -

業 種

労働者数 人

申込担当者氏名

【参加申込先】参加ご希望の方は、上記申込書にご記入の上、6月25日(火)までに地区労働基準協会、所属労働災害防止団体又は各団体事務局へ申し込み、参加証をお受け取り下さい。大会当日、受付にて参加証と引き換えに資料をお渡します。

### 個人情報の取扱いについて

本申込書にご記入いただきました個人情報につきましては、当団体において安全に管理し、他の目的には使用いたしません。



# 第86回 全国安全週間

◆ 期 間：平成25年7月1日(月)～7日(日)

【準備期間：平成25年6月1日(土)～30日(日)】

(スローガン)

高めよう 一人ひとりの安全意識  
みんなの力でゼロ災害

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で86回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して、労働災害防止対策が展開されてきており、この努力により、労働災害は長期的には減少してきましたが、労働災害による死傷者数は、平成22年から3年連続の増加となり、極めて憂慮すべき事態となっています。

今回のスローガンは、近年の労働災害の高まりを受けて、職場の全員が現場を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守ることと、一人ひとりの安全に対する意識や危険感受性を高めることによって、業務中の労働災害ゼロを目指していくことを表しています。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図りゼロ災害を目指しましょう。

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会  
協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会  
港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会  
鉱業労働災害防止協会

※裏面の「平成25年度全国安全週間実施要綱について」もご覧ください。



# 平成 25 年度全国安全週間実施要綱について

## ① 全般的事項

- 安全衛生管理体制の確立と自主的な安全衛生活動の促進
- 職業生活全般を通じた各段階での安全教育の徹底
- 作業者の安全意識の高揚
- 女性・高齢者が活躍するための職場改善の推進 など

## ② 業種の特性に対応した対策・特定の災害に対する対策の推進

### (1) 東日本大震災に伴う復旧・復興工事

- 建築物等の解体工事及び除染作業での労働者と解体用機械等の車両系建設機械との接触防止、高所からの墜落・転落災害防止対策等の徹底
- 震災復旧・復興工事の進捗に応じた施工計画、作業計画の作成及びそれら計画に基づく工事の安全な実施
- 一定の工事エリア内で複数の工事が近接・密集して実施される場合、発注者及び近接工事の元方事業者による工事エリア別協議組織の設置
- 職長、新規入職者等に対する安全衛生教育の確実な実施 など

### (2) 第三次産業

- 転倒、墜落・転落災害の防止対策の徹底のための職場内の危険箇所の特定・改善の実施
- 重量物取扱い作業、介護作業等の腰痛予防対策の徹底
- 職場の4S活動（職場の整理、整頓、清掃、清潔）、危険予知活動の推進 など

### (3) 陸上貨物運送事業

- 荷役作業中の荷台等からの墜落・転落防止対策の徹底
- 荷主との合同による荷役作業現場の安全点検及び改善の実施
- 交通労働災害防止のための管理体制の確立 など

### (4) 建設業

- 元方事業者による統括安全衛生管理と関係請負人に対する指導の徹底
- 足場からの墜落防止措置や手すり先行工法等「より安全な措置」の実施
- 足場の設置が困難な場合の安全帯（救出に時間を要する場所等においては、ハーネス型安全帯）の使用等、高所作業中の墜落・転落防止対策の徹底
- クレーン、移動式クレーン、解体用機械等の車両系建設機械の検査・点検整備及び安全な作業方法の徹底 など

### (5) 製造業

- 機械譲渡者等による機械の危険性等の通知を活用した「機械の包括的な安全基準に関する指針」に基づく安全な機械の採用及び使用
- 安全管理者等の安全担当者の能力向上教育の実施
- 雇入時、作業内容変更時等の安全教育の徹底
- 元方事業者による同一現場で働く請負事業の労働者や派遣労働者を含めた総合的な安全管理の徹底

◆職場の安全、安全週間に関する情報はこちらでも発信しています！

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzen.html>

中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/campaign/anzen/index.html>

あんぜんプロジェクト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

◆詳しくは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。  
厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署